

事業番号	032
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市有財産整備事業							担当部	総務部	
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	財政課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	資産管理係		
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		32 税・財政		3 市有財産の有効活用に努める				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	11	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市有財産を有効に活用するため必要な整備を行う。									
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産土地を管理するため、管理柵を設置した。 ・職員駐車場として借用していた土地について原状復旧工事を行った。 ◆【24年度直接経費の内訳】 ・普通財産管理柵設置工事 997千円 ・職員駐車場原状復旧工事 1,060千円 ◆【25年度直接経費の内訳】 ・境界柵等設置工事費 1,600千円 ・市有財産解体工事費 5,400千円 ・人夫賃、設計・監理委託料、原材料費 674千円 									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,750	25,625	2,058	7,674	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.70	0.70	1.00
			人件費	千円	1,066	3,731	3,731	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	5,816	29,356	5,789	13,004		
	対前年比	%		504.7	19.7	224.6		
財源	一般財源	千円	5,816	29,356	5,789	13,004		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	整備工事数	件	目標	—	—	—	—
			実績	4	5	2	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	整備工事数	件	目標	—	—	—	—
			実績	4	5	2	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	事業の達成状況	管理柵の取替修繕や、職員駐車場の廃止に伴う、借地の原状復旧工事を実施し、普通財産を適正に管理することができた。 また、旧清掃事務所について、老朽化が進み、耐震性にも問題があるため、平成25年度に取壊すこととし、今後の事務所の取扱いについて関係各課と調整を行った。		
	事業実施における課題	普通財産(土地)については、傾斜地も多く、風水害による法面崩落などの危険性がある。 また、旧清掃事務所について、平成25年度に事務所を取壊すことが決まったが、建物を使用していた小牧市シルバー人材センターで新たに設置する新事務所について引き続き調整が必要となる。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	普通財産(土地)における未利用地では、管理柵が不可欠であり、設置しないと不法占拠や不法投棄などが発生し、関係者との調整など多大な事務処理に追われる。 また、風水害による普通財産(土地)の法面崩落の発生などは、隣地など市民生活に影響を及ぼすことがある。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	旧清掃事務所について、小牧市シルバー人材センターと調整のうえ建物解体工事を実施する。 老朽化の激しい、中央四丁目地内の管理柵について取替修繕工事を実施する。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	管理柵の劣化による定期的な補修や、建物・土地の普通財産の老朽化や風水害による被害を最小限に抑える整備体制が整っており、迅速な対応が出来ていることから維持とした。		
	26年度以降の改善案	普通財産の管理柵について、老朽化の度合いや、他市の管理状況などを踏まえて、耐久性の高い管理柵(材質など)の調査、導入を検討する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。